

【研究概要】

肝癌の一般的な治療法は病巣の切除であるが、それは侵襲が大きく、また、切除をしても再発を起こす確率は低くない。そこで、マイクロ波凝固療法またはラジオ波焼灼療法を肝癌に対して行うことで、局所での腫瘍制御が得られ、結果、外科的手術を行わなくとも、肝腫瘍の局所制御が十分得られると考えられている。本研究の目的は肝癌に対してラジオ波治療またはマイクロ波治療を行い、2つの治療成績を比較することである。